



2024年度 クラブ経営情報開示資料（本発表）

2025年7月29日
公益社団法人 日本プロサッカーリーグ
経営基盤本部 クラブライセンス事務局

1-1. 主なトピックス



① 売上高は60クラブ合計で過去最高の1,725億円となり、前期比114%、50クラブが増収であった。

- ✓ 入場料収入は前期比121%となり、大幅に増収。
- ✓ 浦和は、2年連続で売上高100億円超（102億円）。
広島は、新スタジアム効果もあり、前期比38億円増の売上高80億円。
- ✓ Jリーグ・Jクラブ全体の売上高は1,900億円超え。

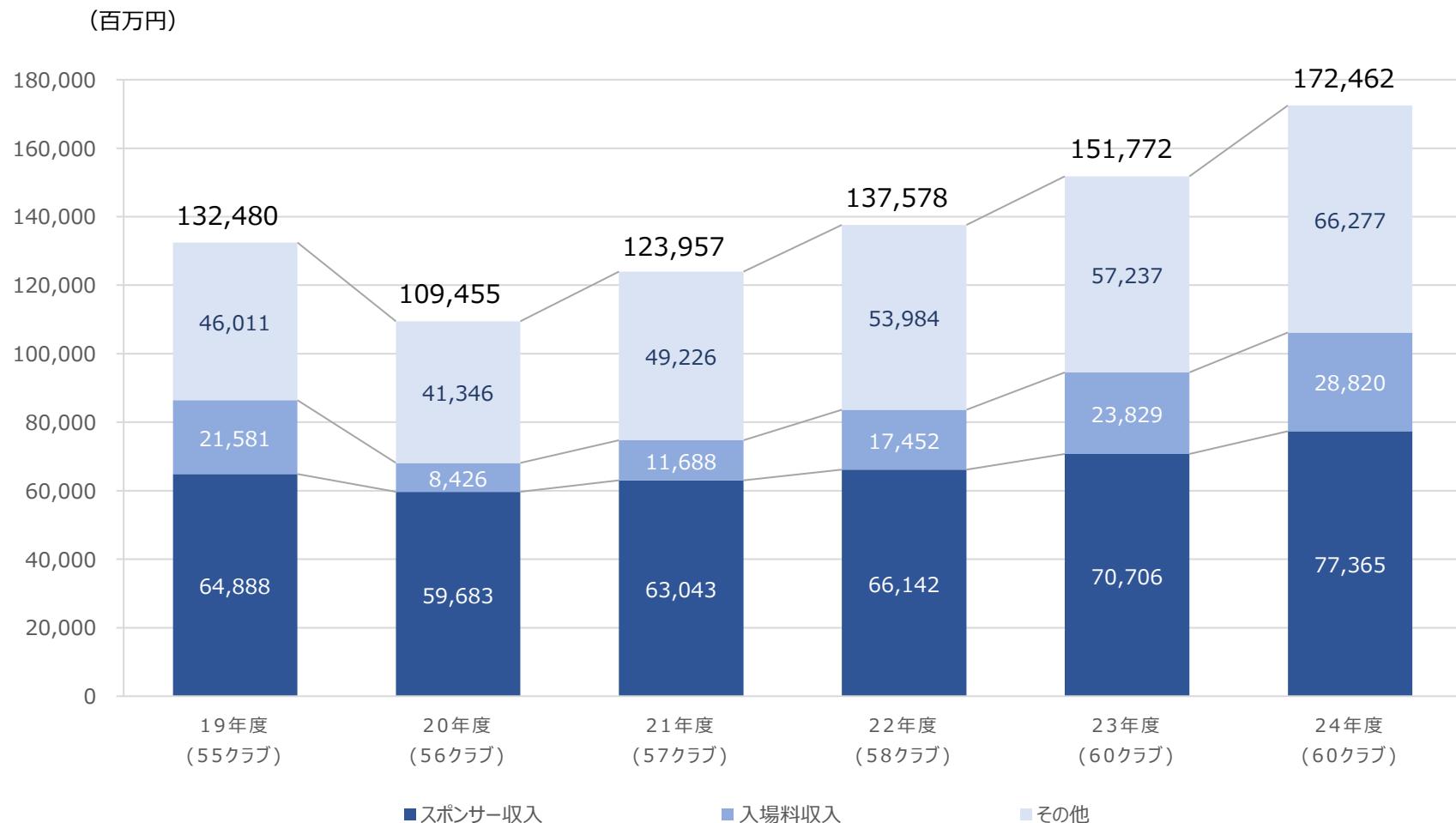
② 売上原価・販管費は60クラブ合計で過去最高の1,732億円となり、売上高と同様に増加している。（前期比112%）。

③ 2024年度より、移籍補償金等収入と移籍関連費用の科目を新たに開示対象とした。

- ✓ 移籍補償金等収入は、国外から45億円、国内から65億円。
- ✓ 移籍関連費用は、国外向け61億円、国内向け57億円。

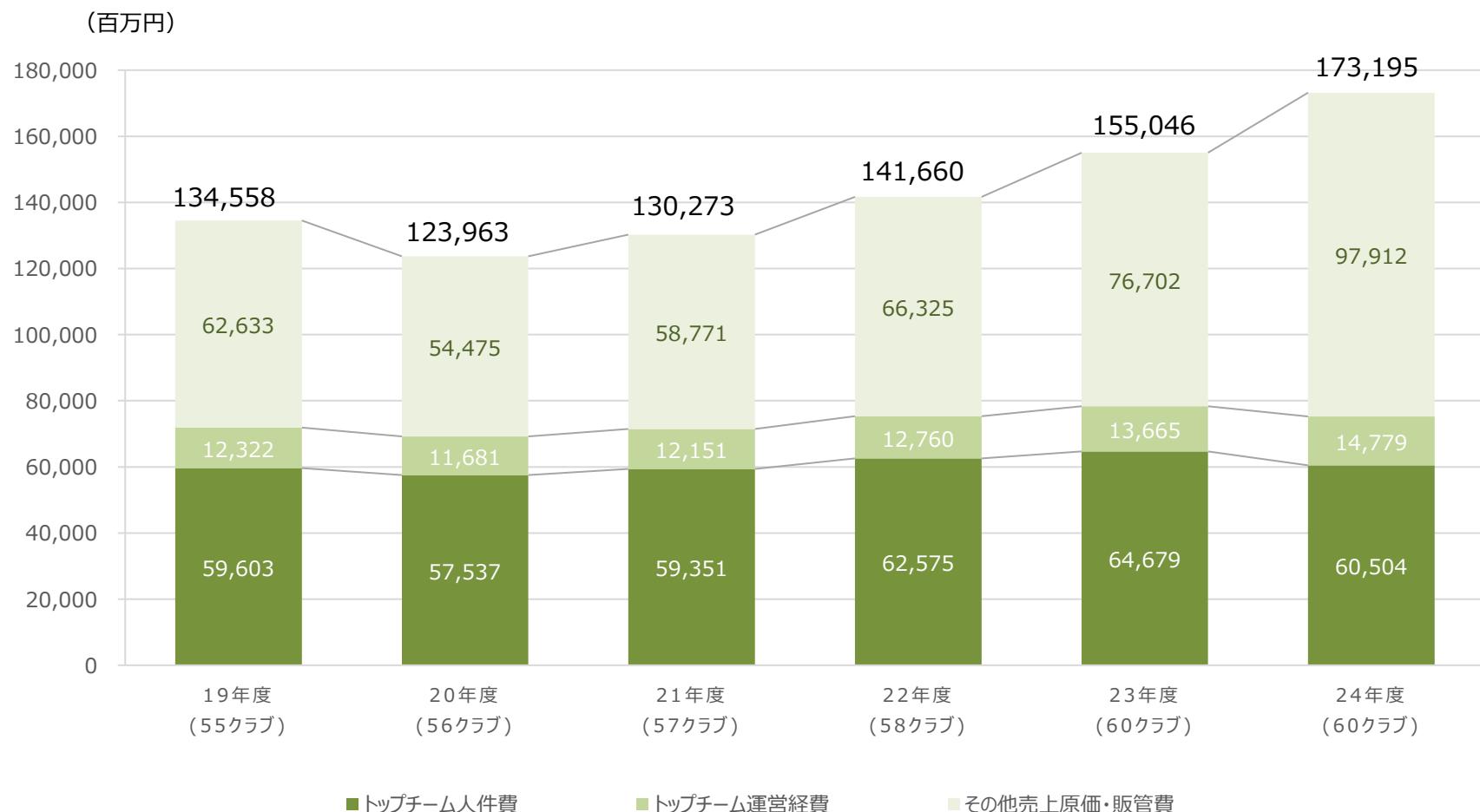
1-2. 売上高推移

- 売上高合計は、2022年度にコロナ前の2019年度を上回ったが、更に増加し1,725億円となった。
- 入場料収入もコロナ前を上回った2023年度をさらに上回り大幅に増収。



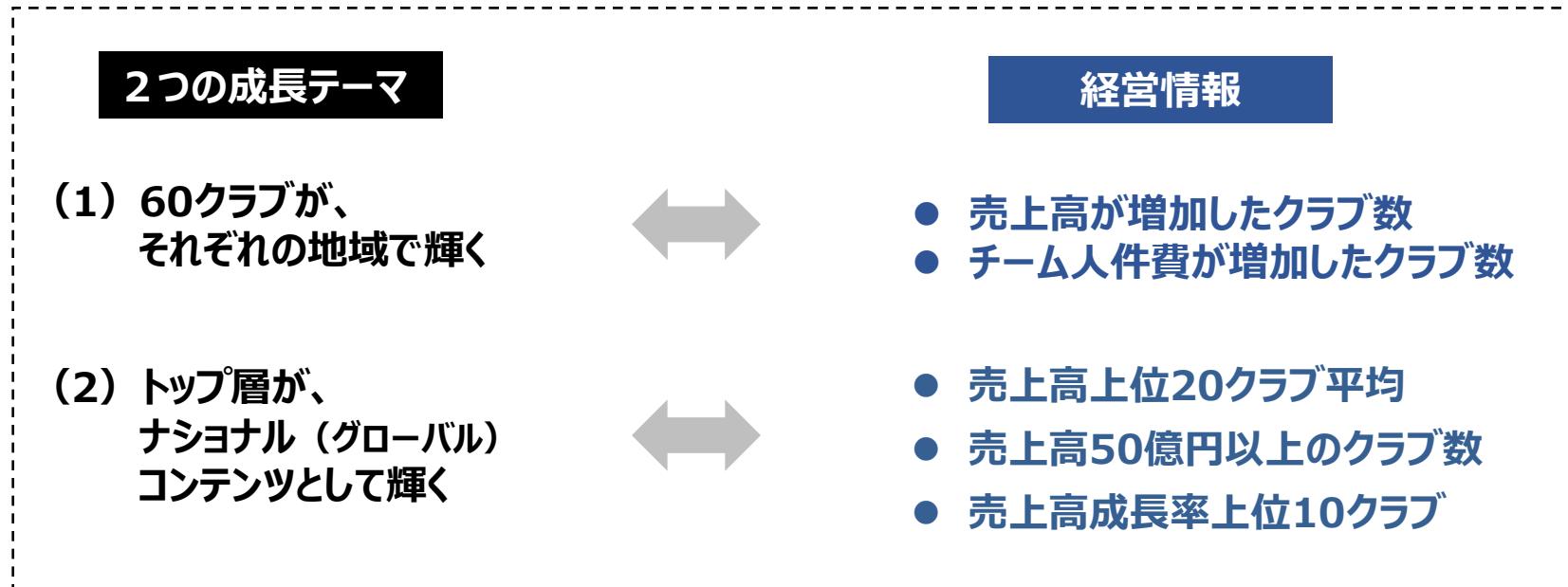
1-3. 売上原価・販管費推移

- 売上原価・販管費合計は、昨年度からも増加し、1,732億円となった。
- トップチーム人件費（移籍関連費用除く）は前期比109%増加。
(2024年度よりトップチーム人件費の内数としていた移籍関連費用を外出ししたため下図では減少)
- 売上高の増加に伴い、トップチーム運営経費、その他売上原価・販管費も増加している。



2-1. 2つの成長テーマに関する経営情報

- Jリーグでは、リーグを取り巻く様々な環境変化を踏まえ、リーグ全体のより一層の成長促進のために、新たな成長戦略として「2つの成長テーマ」を掲げ、様々な施策や構造改革を進めている。
- 施策や構造改革の成果が現れるのは今後になるが、現時点での、2つの成長テーマに関する経営情報を整理した。





2-2. 売上高・チーム人件費が増加したクラブ

- 売上高、および売上原価・販管費が増加したクラブは、J1・J2・J3で7～9割。
- 2023年度と比較して、J1クラブで売上高、および売上原価・販管費が伸びたクラブが増加。
- トップチーム人件費は、移籍関連費用除きで比較。

	増加したクラブ数		
	J1	J2	J3
売上高	19クラブ (95%)	14クラブ (70%)	17クラブ (85%)
スポンサー収入	17クラブ (85%)	14クラブ (70%)	16クラブ (80%)
入場料収入	16クラブ (80%)	16クラブ (80%)	16クラブ (80%)
売上原価・販管費	18クラブ (90%)	14クラブ (70%)	15クラブ (75%)
トップチーム人件費	14クラブ (70%)	13クラブ (65%)	14クラブ (70%)



2-3. 売上高の推移

- 売上高が増加したクラブは50クラブ（83%）、減少したクラブは10クラブ（17%）である。
- 増加したクラブの内訳は、J1が19クラブ、J2が14クラブ、J3が17クラブである。

【2024年J1在籍クラブ】

	2022年度	2023年度	2024年度	(百万円) 前年比
浦和	8,127	10,384	10,211	▲173
川崎F	6,979	7,963	8,403	+440
神戸	6,365	7,037	8,067	+1,030
広島	4,017	4,198	8,035	+3,837
横浜FM	6,481	6,509	7,333	+824
G大阪	5,969	6,574	7,223	+649
鹿島	6,116	6,462	7,200	+738
FC東京	5,274	5,929	6,989	+1,060
名古屋	5,274	6,303	6,874	+571
町田	1,919	3,409	5,754	+2,345
C大阪	4,216	4,868	5,401	+533
札幌	3,605	4,111	5,000	+889
磐田	3,232	4,254	4,852	+598
柏	4,632	4,419	4,658	+239
新潟	2,539	3,659	4,062	+403
京都	3,288	3,393	3,720	+327
東京V	2,116	2,818	3,683	+865
鳥栖	2,761	2,497	3,058	+561
福岡	2,829	2,874	3,053	+179
湘南	2,477	2,812	2,896	+84
合計	88,216	100,473	116,472	+15,999
平均	4,411	5,024	5,824	

【2024年J2在籍クラブ】

	2022年度	2023年度	2024年度	(百万円) 前年比
清水	5,087	5,101	5,003	▲98
横浜FC	2,861	3,627	3,314	▲313
千葉	2,638	2,649	3,197	+548
徳島	2,222	2,092	2,731	+639
山形	2,192	2,500	2,612	+112
仙台	2,666	2,520	2,500	▲20
長崎	2,064	2,111	2,352	+241
岡山	1,882	1,937	2,036	+99
大分	1,827	1,861	1,819	▲42
甲府	1,564	2,040	1,748	▲292
いわき	770	1,077	1,408	+331
山口	1,118	1,098	1,251	+153
水戸	1,024	1,104	1,224	+120
栃木SC	1,041	1,088	1,199	+111
熊本	978	1,228	1,133	▲95
鹿児島	759	886	1,130	+244
愛媛	788	860	1,119	+259
群馬	717	790	1,007	+217
秋田	877	904	1,007	+103
藤枝	405	805	907	+102
合計	33,480	36,278	38,697	+2,419
平均	1,674	1,814	1,935	

【2024年J3在籍クラブ】

	2022年度	2023年度	2024年度	(百万円) 前年比
大宮	2,638	2,788	2,640	▲148
松本	1,510	1,456	1,432	▲24
今治	1,045	1,292	1,353	+61
金沢	863	871	1,274	+403
相模原	762	486	1,074	+588
岐阜	877	904	1,010	+106
富山	677	786	919	+133
北九州	1,023	933	907	▲26
長野	758	741	874	+133
岩手	672	536	689	+153
FC大阪	-	559	659	+100
琉球	1,599	512	603	+91
沼津	434	511	589	+78
鳥取	486	469	540	+71
八戸	401	494	538	+44
福島	431	403	523	+120
宮崎	325	218	510	+292
奈良	-	429	465	+36
讃岐	406	424	443	+19
YS横浜	158	209	251	+42
合計	15,065	15,021	17,293	+2,272
平均	837	751	865	

	58クラブ	60クラブ	60クラブ
総合計	137,578	151,772	172,462
平均	2,372	2,530	2,874

【凡例】

: J1在籍 : J2在籍 : J3在籍

2-4. スポンサー収入の推移

- スポンサー収入が増加したクラブは47クラブ（78%）、減少したクラブは12クラブ（20%）である。
- 増加したクラブの内訳は、J1が17クラブ、J2が14クラブ、J3が16クラブである。

【2024年J1在籍クラブ】

	2022年度	2023年度	2024年度	(百万円) 前年比
浦和	4,048	4,223	4,108	▲115
町田	1,479	2,656	4,043	+1,387
川崎F	3,235	3,452	4,029	+577
FC東京	2,559	2,836	2,989	+153
磐田	1,830	2,675	2,849	+174
柏	3,029	3,111	2,845	▲266
名古屋	3,737	2,738	2,817	+79
横浜FM	1,866	2,222	2,762	+540
C大阪	2,284	2,741	2,737	▲4
広島	1,702	1,864	2,719	+855
鹿島	2,608	2,418	2,598	+180
神戸	2,146	2,409	2,439	+30
G大阪	2,088	2,188	2,263	+75
京都	1,898	1,997	2,151	+154
札幌	1,488	1,933	2,059	+126
新潟	928	1,233	1,338	+105
湘南	1,310	1,287	1,310	+23
福岡	1,202	936	1,025	+89
鳥栖	1,046	982	986	+4
東京V	560	343	873	+530
合計	41,043	44,244	48,940	+4,696
平均	2,052	2,212	2,447	

【2024年J2在籍クラブ】

	2022年度	2023年度	2024年度	(百万円) 前年比
清水	3,016	2,910	2,510	▲400
千葉	1,700	1,622	1,713	+91
仙台	1,754	1,702	1,591	▲111
横浜FC	1,230	1,528	1,441	▲87
徳島	1,342	1,347	1,329	▲18
長崎	1,335	1,240	1,274	+34
山形	868	940	1,053	+113
岡山	788	861	910	+49
大分	674	738	784	+46
甲府	749	851	780	▲71
栃木SC	546	560	650	+90
水戸	507	574	641	+67
山口	549	611	589	▲22
愛媛	351	389	540	+151
秋田	404	467	527	+60
いわき	406	488	502	+14
鹿児島	397	437	491	+54
熊本	403	459	488	+29
群馬	344	350	480	+130
藤枝	297	414	449	+35
合計	17,660	18,488	18,742	+254
平均	883	924	937	

【2024年J3在籍クラブ】

	2022年度	2023年度	2024年度	(百万円) 前年比
大宮	1,542	1,493	1,574	+81
相模原	427	240	856	+616
今治	617	744	802	+58
松本	839	780	742	▲38
金沢	329	360	599	+239
岐阜	466	477	525	+48
FC大阪	-	404	499	+95
岩手	357	293	498	+205
富山	414	490	490	0
北九州	494	487	436	▲51
沼津	230	309	352	+43
宮崎	209	110	345	+235
長野	358	338	331	▲7
福島	249	261	326	+65
八戸	206	296	305	+9
奈良	-	215	243	+28
鳥取	198	193	220	+27
琉球	219	169	212	+43
讃岐	196	194	196	+2
YS横浜	89	121	132	+11
合計	7,439	7,974	9,683	+1,709
平均	413	399	484	

	58クラブ	60クラブ	60クラブ	
総合計	66,142	70,706	77,365	+6,659
平均	1,140	1,178	1,289	

【凡例】

: J1在籍

: J2在籍

: J3在籍

2-5. 入場料収入の推移

- 入場料収入が増加したクラブは48クラブ（80%）、減少したクラブは10クラブ（17%）である。
- 増加したクラブの内訳は、J1が16クラブ、J2が16クラブ、J3が16クラブである。

【2024年J1在籍クラブ】

	2022年度	2023年度	2024年度	(百万円) 前年比
浦和	1,439	2,145	2,012	▲133
広島	405	631	2,004	+1,373
横浜FM	1,019	1,499	1,741	+242
FC東京	893	1,208	1,450	+242
川崎F	1,048	1,258	1,329	+71
名古屋	698	1,243	1,310	+67
神戸	827	1,320	1,309	▲11
鹿島	801	1,201	1,238	+37
G大阪	701	970	1,185	+215
札幌	630	775	1,127	+352
新潟	596	847	1,010	+163
C大阪	696	900	1,000	+100
東京V	154	366	726	+360
町田	84	202	687	+485
福岡	464	618	669	+51
柏	482	413	623	+210
磐田	348	530	614	+84
京都	573	599	612	+13
鳥栖	557	619	607	▲12
湘南	370	523	476	▲47
合計	12,785	17,867	21,729	+3,862
平均	639	893	1,086	

58クラブ 60クラブ 60クラブ

総合計	17,452	23,829	28,820	+4,991
平均	301	397	480	

【2024年J2在籍クラブ】

	2022年度	2023年度	2024年度	(百万円) 前年比
清水	723	835	941	+106
長崎	165	182	548	+366
仙台	316	375	433	+58
千葉	225	302	382	+80
山形	234	279	366	+87
大分	319	334	361	+27
横浜FC	215	524	327	▲197
甲府	189	338	313	▲25
岡山	237	248	293	+45
熊本	157	155	169	+14
栃木SC	116	154	163	+9
徳島	135	170	154	▲16
山口	123	125	150	+25
藤枝	23	102	137	+35
水戸	90	109	136	+27
いわき	32	90	129	+39
鹿児島	41	79	129	+50
群馬	80	116	100	▲16
愛媛	45	58	78	+20
秋田	48	48	55	+7
合計	3,513	4,623	5,364	+741
平均	176	231	268	

【凡例】

■ : J1在籍 ■ : J2在籍 ■ : J3在籍

【2024年J3在籍クラブ】

	2022年度	2023年度	2024年度	(百万円) 前年比
松本	274	276	320	+44
大宮	229	270	259	▲11
金沢	63	80	170	+90
富山	44	54	141	+87
北九州	100	83	120	+37
岐阜	79	90	107	+17
今治	34	78	83	+5
長野	61	69	80	+11
琉球	37	34	61	+27
鳥取	32	39	58	+19
沼津	16	32	53	+21
奈良	-	38	44	+6
YS横浜	21	25	44	+19
相模原	48	45	43	▲2
讃岐	29	35	35	0
FC大阪	-	16	25	+9
宮崎	23	22	24	+2
岩手	35	21	21	0
福島	19	19	21	+2
八戸	10	13	18	+5
合計	1,154	1,339	1,727	+388
平均	64	67	86	

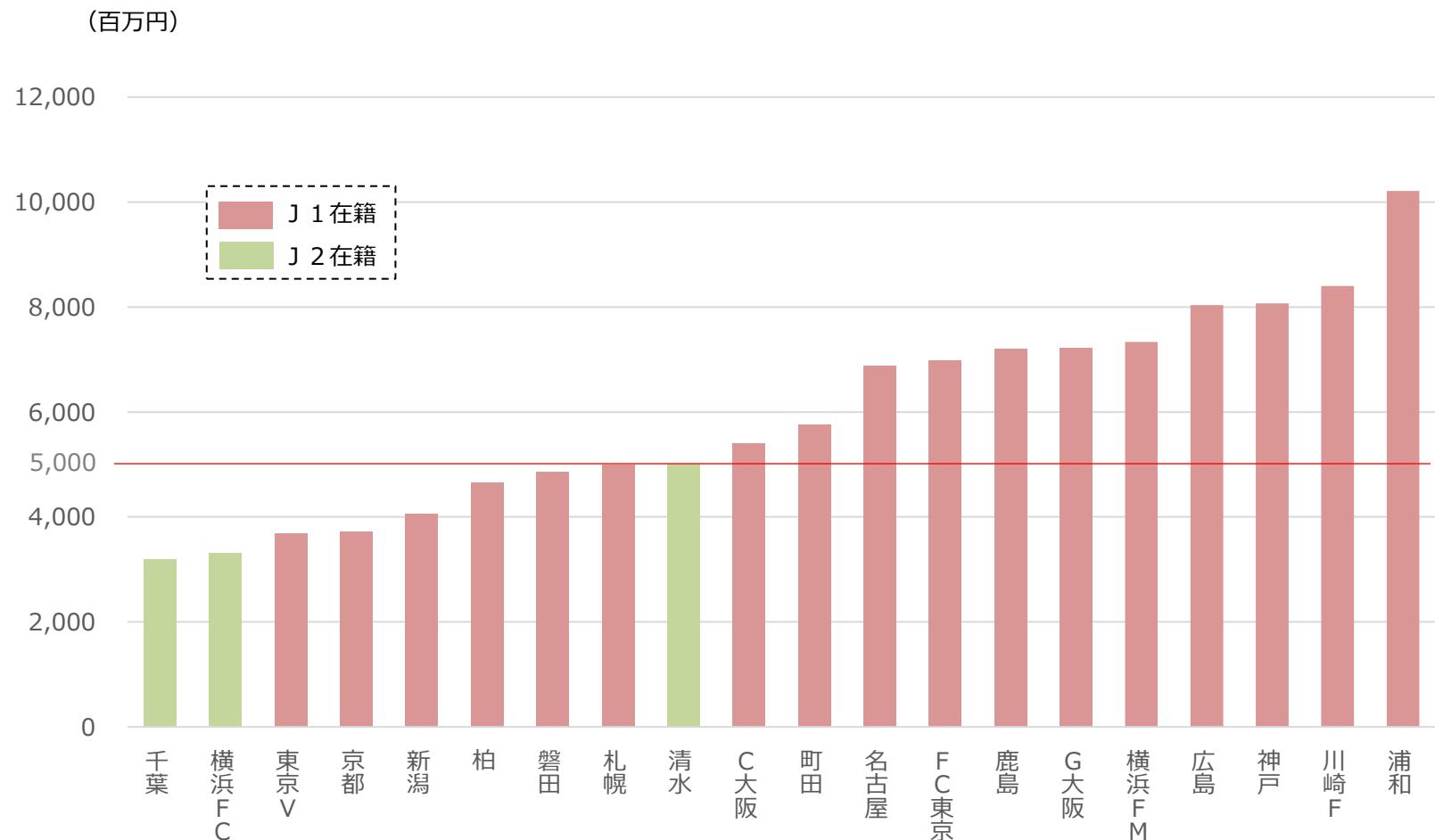
2-6. 売上高上位20クラブ平均 売上高50億円以上のクラブ数

- 売上高上位20クラブ平均は59億49百万円であり、前年度より大幅に増加した。
- 売上高50億円以上のクラブ数も、前年度から増加し13クラブとなった。



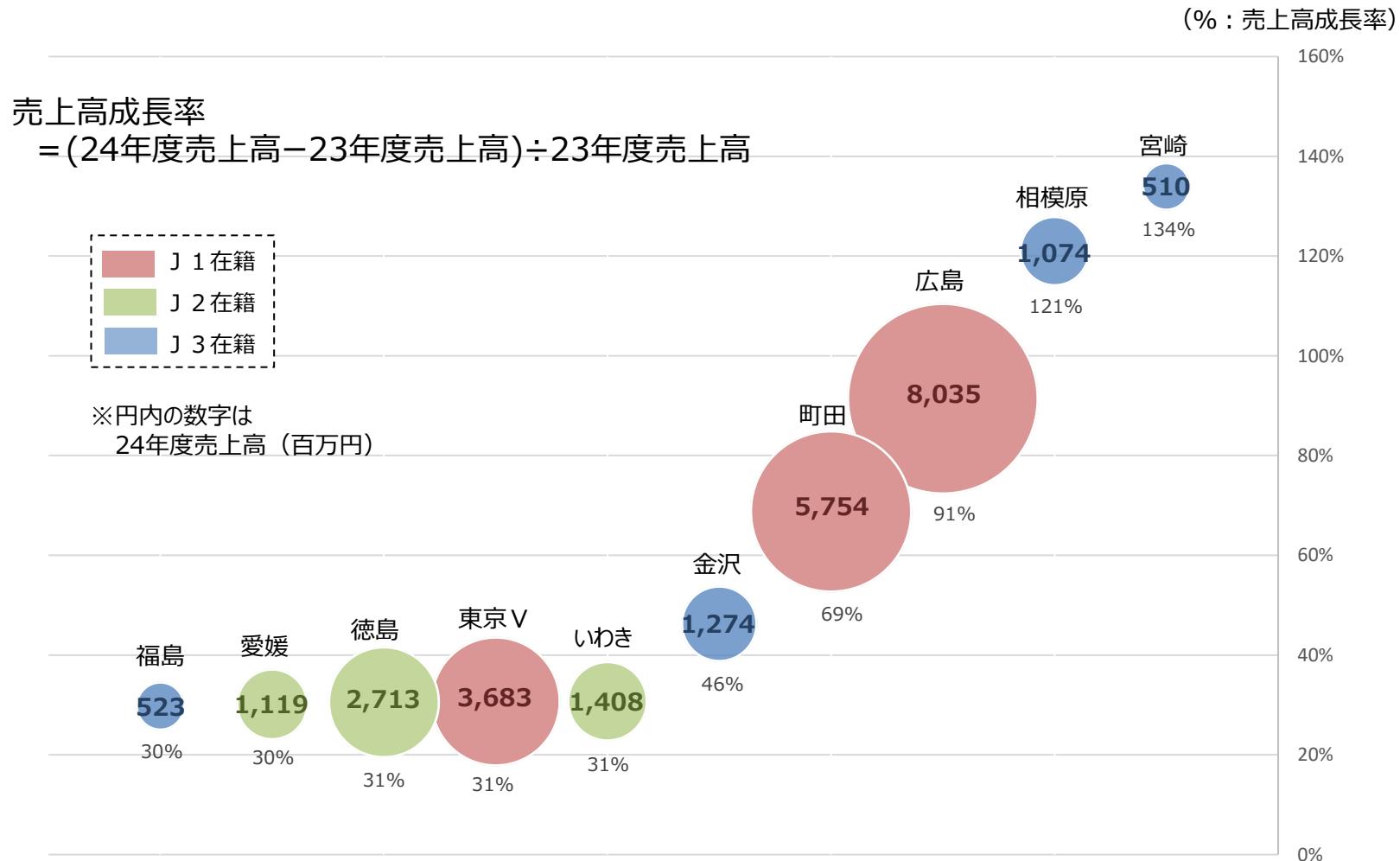
2-7. 売上高上位20クラブ（売上高順）

- 売上高が最も多いのは浦和で102億円、次に川崎 F が84億円、神戸・広島が80億円と続く。
- 上記4クラブに加えて、横浜FM、G 大阪、鹿島、FC東京、名古屋、町田、C 大阪、清水、札幌が売上高50億円以上のクラブとなっている。



2-8. 売上高成長率上位10クラブ

- 売上高成長率が最も高いのは宮崎で134%、次に相模原が121%、広島が91%、町田が69%。





Appendix

3-1. J1・J2・J3クラブ合計



- 2024年度より、その他収入に含まれていた移籍補償金等収入と、トップチーム人件費に含まれていた移籍関連費用の科目を新たに開示対象とした。
- 移籍補償金等収入および移籍関連費用は、それぞれ国外・国内クラブからの収入と、国外・国内クラブ向けの費用に区分。

(百万円)

	J1合計			J2合計			J3合計			J1+J2+J3合計		
	2023年度 (18クラブ)	2024年度 (20クラブ)	前年比	2023年度 (22クラブ)	2024年度 (20クラブ)	前年比	2023年度 (20クラブ)	2024年度 (20クラブ)	前年比	2023年度 (60クラブ)	2024年度 (60クラブ)	前年比
売上高	93,619	116,471	+22,852	45,045	38,697	▲6,348	13,108	17,293	+4,185	151,772	172,461	+20,689
スポンサー収入	40,098	48,940	+8,842	23,661	18,742	▲4,919	6,947	9,683	+2,736	70,706	77,365	+6,659
入場料収入	17,293	21,729	+4,436	5,410	5,364	▲46	1,126	1,727	+601	23,829	28,820	+4,991
物販収入	10,012	11,862	+1,850	3,318	3,128	▲190	1,061	1,376	+315	14,391	16,366	+1,975
Jリーグ配分金	6,197	7,883	+1,686	2,968	2,248	▲720	720	481	▲239	9,885	10,612	+727
移籍補償金等収入	-	7,798	+7,798	-	2,980	+2,980	-	271	+271	-	11,049	+11,049
国外クラブからの収入	-	3,515	+3,515	-	922	+922	-	76	+76	-	4,513	+4,513
国内クラブからの収入	-	4,283	+4,283	-	2,057	+2,057	-	195	+195	-	6,535	+6,535
アカデミー関連収入	2,672	3,032	+360	1,700	1,521	▲179	921	1,160	+239	5,293	5,713	+420
女子チーム関連収入	639	1,453	+814	790	260	▲530	263	525	+262	1,692	2,238	+546
その他収入	16,708	13,775	▲2,933	7,198	4,454	▲2,744	2,070	2,070	+0	25,976	20,299	▲5,677
売上原価	72,464	89,653	+17,189	34,560	30,165	▲4,395	10,837	13,025	+2,188	117,861	132,843	+14,982
トップチーム人件費	42,237	41,714	▲523	17,733	13,481	▲4,252	4,709	5,309	+600	64,679	60,504	▲4,175
トップチーム運営経費	6,922	8,691	+1,769	4,785	4,062	▲723	1,894	2,026	+132	13,601	14,779	+1,178
試合開催費用（ホームゲーム開催費）	6,133	8,499	+2,366	3,585	3,164	▲421	1,533	1,732	+199	11,251	13,395	+2,144
物販関連費	7,135	8,581	+1,446	2,229	2,241	+12	709	909	+200	10,073	11,731	+1,658
移籍関連費用	-	9,695	+9,695	-	1,883	+1,883	-	207	+207	-	11,785	+11,785
国外クラブ向けの費用	-	5,505	+5,505	-	473	+473	-	85	+85	-	6,063	+6,063
国内クラブ向けの費用	-	4,189	+4,189	-	1,408	+1,408	-	121	+121	-	5,718	+5,718
アカデミー関連経費	4,997	5,720	+723	3,544	2,885	▲659	1,275	1,705	+430	9,816	10,310	+494
女子チーム関連経費	923	1,652	+729	739	338	▲401	246	495	+249	1,908	2,485	+577
その他売上原価	4,117	5,100	+983	1,945	2,111	+166	471	639	+168	6,533	7,850	+1,317
販売費および一般管理費	21,538	25,226	+3,688	11,063	9,525	▲1,538	4,584	5,601	+1,017	37,185	40,352	+5,275
営業利益（▲損失）	▲ 383	1,592	+1,975	▲ 578	▲ 993	▲415	▲ 2,313	▲ 1,334	+979	▲ 3,274	▲ 735	+2,539
営業外収益	1,031	916	▲115	276	244	▲32	187	160	▲27	1,494	1,321	▲173
営業外費用	1,191	651	▲540	131	73	▲58	39	75	+36	1,361	799	▲562
経常利益（▲損失）	▲ 543	1,858	+2,401	▲ 433	▲ 822	▲389	▲ 2,165	▲ 1,250	+915	▲ 3,141	▲ 213	+2,928
特別利益	1,490	202	▲1,288	1,484	1,387	▲97	142	80	▲62	3,116	1,669	▲1,447
特別損失	195	258	+63	40	165	+125	108	50	▲58	343	473	+130
税引前当期利益（▲損失）	752	1,804	+1,052	1,011	399	▲612	▲ 2,131	▲ 1,219	+912	▲ 368	984	+1,352
法人税および住民税等	503	406	▲97	252	190	▲62	10	▲ 2	▲12	765	594	▲171
当期純利益（▲損失）	249	1,397	+1,148	759	208	▲551	▲ 2,141	▲ 1,220	+921	▲ 1,133	385	+1,518

3-2. J1・J2・J3クラブ平均



- 2024年度より、その他収入に含まれていた移籍補償金等収入と、トップチーム人件費に含まれていた移籍関連費用の科目を新たに開示対象とした。
- 移籍補償金等収入および移籍関連費用は、それぞれ国外・国内クラブからの収入と、国外・国内クラブ向けの費用に区分。

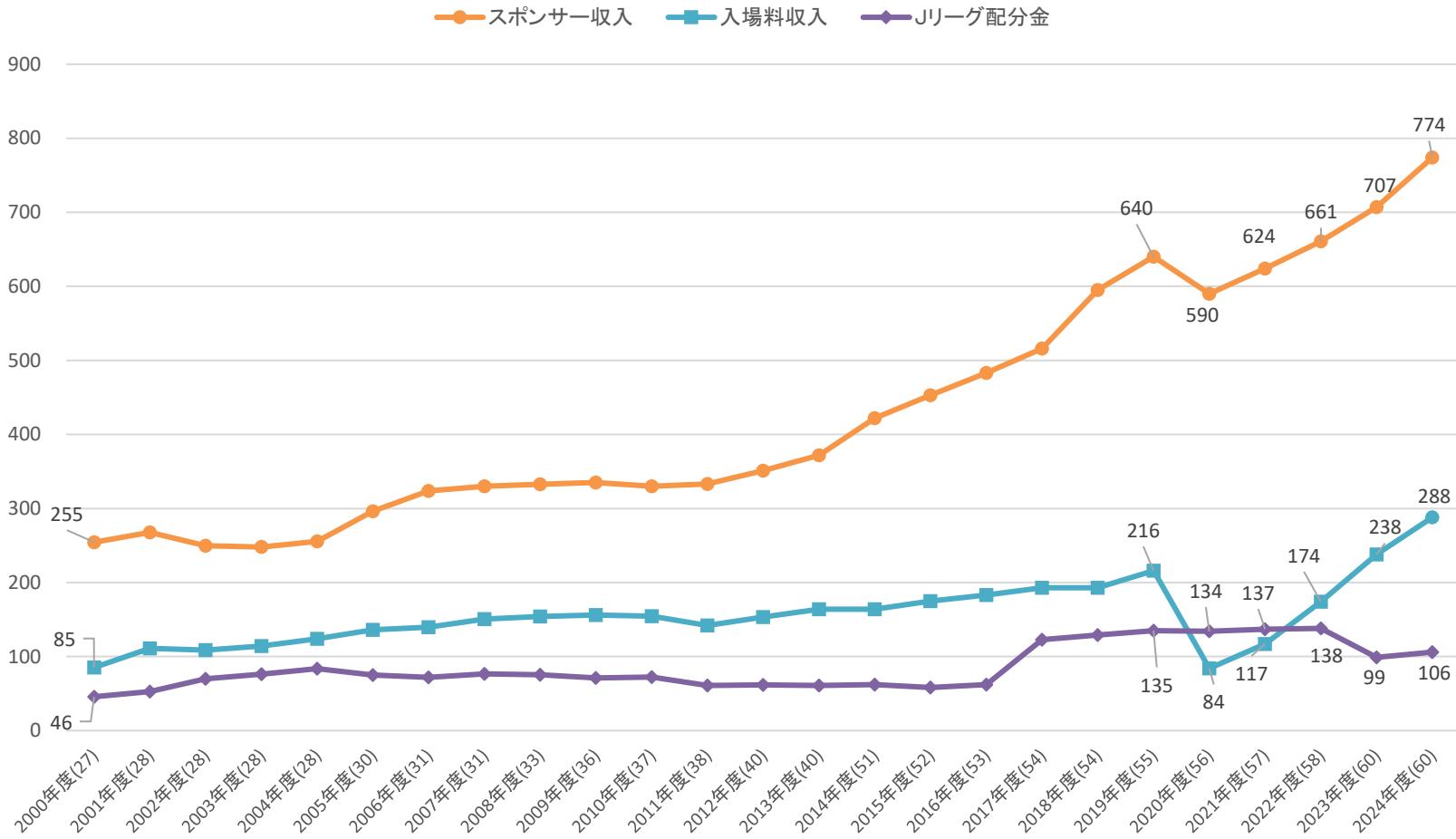
(百万円)

	J1平均				J2平均				J3平均				J1+J2+J3平均					
	2023年度 (18クラブ)		2024年度 (20クラブ)		2023年度 (22クラブ)		2024年度 (20クラブ)		2023年度 (20クラブ)		2024年度 (20クラブ)		2023年度 (60クラブ)	2024年度 (60クラブ)	前年比			
	構成比	構成比	前年比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比			
売上高	5,201	100.0%	5,824	+622	100.0%	2,048	100.0%	1,935	▲113	100.0%	655	100.0%	865	+209	100.0%	2,530	2,874	+345
スポンサー収入	2,228	42.8%	2,447	+219	42.0%	1,076	52.5%	937	▲138	48.4%	347	53.0%	484	+137	56.0%	1,178	1,289	+111
入場料収入	961	18.5%	1,086	+126	18.7%	246	12.0%	268	+22	13.9%	56	8.6%	86	+30	10.0%	397	480	+83
物販収入	556	10.7%	593	+37	10.2%	151	7.4%	156	+6	8.1%	53	8.1%	69	+16	8.0%	240	273	+33
Jリーグ配分金	344	6.6%	394	+50	6.8%	135	6.6%	112	▲23	5.8%	36	5.5%	24	▲12	2.8%	165	177	+12
移籍補償金等収入	-	0.0%	390	+390	6.7%	-	0.0%	149	+149	7.7%	-	0.0%	14	+14	1.6%	-	184	+184
国外クラブからの収入	-	0.0%	176	+176	3.0%	-	0.0%	46	+46	2.4%	-	0.0%	4	+4	0.4%	-	75	+75
国内クラブからの収入	-	0.0%	214	+214	3.7%	-	0.0%	103	+103	5.3%	-	0.0%	10	+10	1.1%	-	109	+109
アカデミー関連収入	148	2.9%	152	+3	2.6%	77	3.8%	76	▲1	3.9%	46	7.0%	58	+12	6.7%	88	95	+7
女子チーム関連収入	36	0.7%	73	+37	1.2%	36	1.8%	13	▲23	0.7%	13	2.0%	26	+13	3.0%	28	37	+9
その他収入	928	17.8%	689	▲239	11.8%	327	16.0%	223	▲104	11.5%	104	15.8%	104	+0	12.0%	433	338	▲95
売上原価	4,026	100.0%	4,483	+457	100.0%	1,571	100.0%	1,508	▲63	100.0%	542	100.0%	651	+109	100.0%	1,964	2,214	+250
トップチーム人件費	2,347	58.3%	2,086	▲261	46.5%	806	51.3%	674	▲132	44.7%	235	43.5%	265	+30	40.8%	1,078	1,008	▲70
トップチーム運営経費	385	9.6%	435	+50	9.7%	218	13.8%	203	▲14	13.5%	95	17.5%	101	+7	15.6%	227	246	+20
試合関連経費（ホームゲーム開催費）	341	8.5%	425	+84	9.5%	163	10.4%	158	▲5	10.5%	77	14.1%	87	+10	13.3%	188	223	+36
物販関連費	396	9.8%	429	+33	9.6%	101	6.4%	112	+11	7.4%	35	6.5%	45	+10	7.0%	168	196	+28
移籍関連費用	-	0.0%	485	+485	10.8%	-	0.0%	94	+94	6.2%	-	0.0%	10	+10	1.6%	-	196	+196
国外クラブ向けの費用	-	0.0%	275	+275	6.1%	-	0.0%	24	+24	1.6%	-	0.0%	4	+4	0.7%	-	101	+101
国内クラブ向けの費用	-	0.0%	209	+209	4.7%	-	0.0%	70	+70	4.6%	-	0.0%	6	+6	0.9%	-	95	+95
アカデミー関連経費	278	6.9%	286	+8	6.4%	161	10.3%	144	▲17	9.6%	64	11.8%	85	+22	13.1%	164	172	+8
女子チーム関連経費	51	1.3%	83	+31	1.8%	34	2.1%	17	▲17	1.1%	12	2.3%	25	+12	3.8%	32	41	+10
その他売上原価	229	5.7%	255	+26	5.7%	88	5.6%	106	+17	7.0%	24	4.3%	32	+8	4.9%	109	131	+22
販売費および一般管理費	1,197	-	1,261	+65	-	503	-	476	▲27	-	229	-	280	+51	-	620	673	+53
営業利益（▲損失）	▲ 21	-	80	+101	-	▲ 26	-	▲ 50	▲23	-	▲ 116	-	▲ 67	+49	-	▲ 55	▲ 12	+42
営業外収益	57	-	46	▲11	-	13	-	12	▲0	-	9	-	8	▲1	-	25	22	▲3
営業外費用	66	-	33	▲34	-	6	-	4	▲2	-	2	-	4	+2	-	23	13	▲9
経常利益（▲損失）	▲ 30	-	93	+123	-	▲ 20	-	▲ 41	▲21	-	▲ 108	-	▲ 63	+46	-	▲ 52	▲ 4	+49
特別利益	83	-	10	▲73	-	67	-	69	+2	-	7	-	4	▲3	-	52	28	▲24
特別損失	11	-	13	+2	-	2	-	8	+6	-	5	-	3	▲3	-	6	8	+2
税引前当期利益（▲損失）	42	-	90	+48	-	46	-	20	▲26	-	▲ 107	-	▲ 61	+46	-	▲ 6	16	+23
法人税および住民税等	28	-	20	▲8	-	11	-	10	▲2	-	1	-	▲ 0	▲1	-	13	10	▲3
当期純利益（▲損失）	14	-	70	+56	-	35	-	10	▲24	-	▲ 107	-	▲ 61	+46	-	▲ 19	6	+25

3-3. 売上高主要項目の推移



(単位：億円)



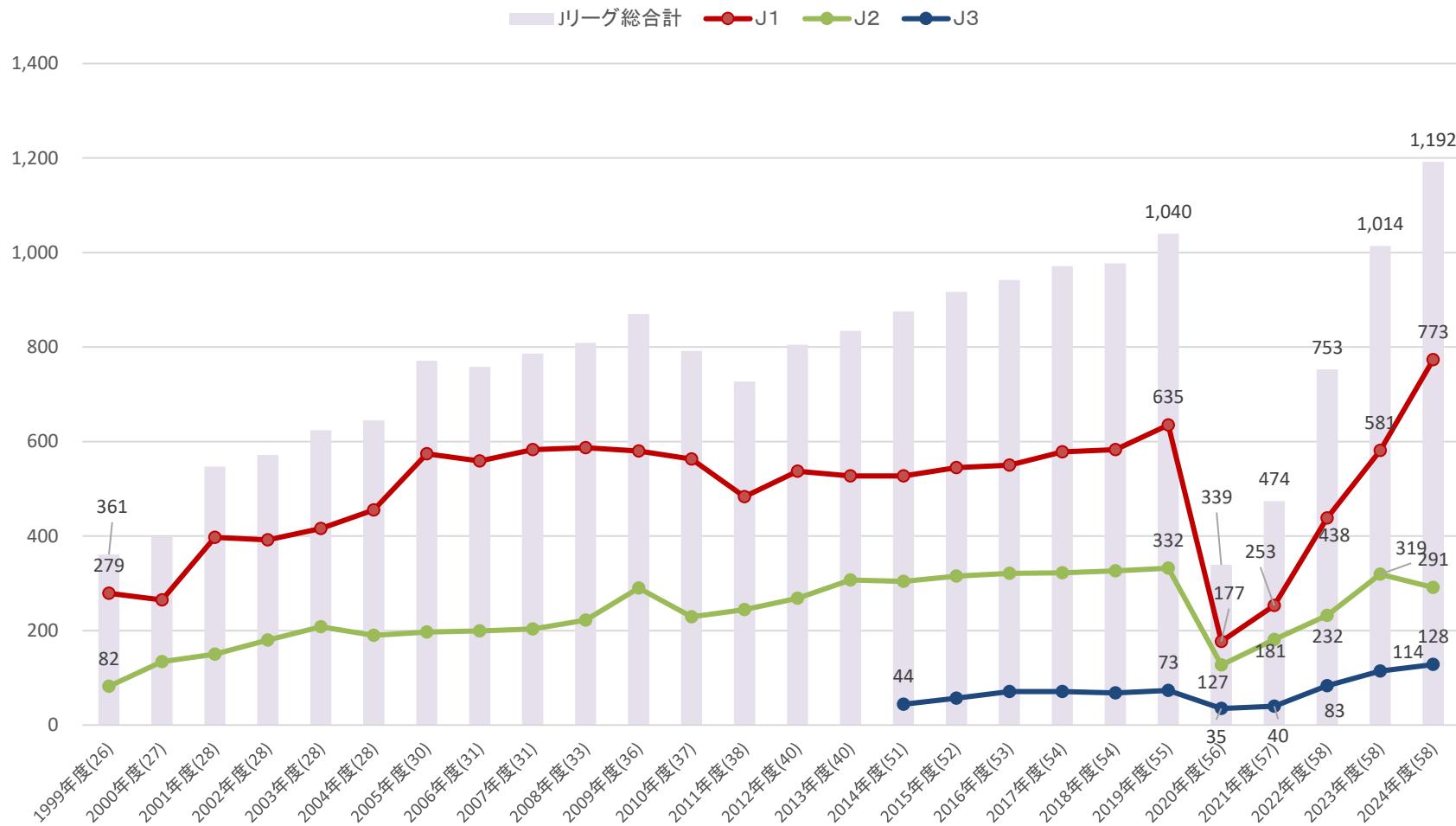
※2010年度以前のJリーグ配分金には、賞金が含まれている。

※2024年度Jリーグ決算発表における配分金の公表数値とは、Jリーグとクラブとの決算月のずれ等によって差異が生じている。

3-4. リーグ戦総入場者数の推移



(単位:万人)

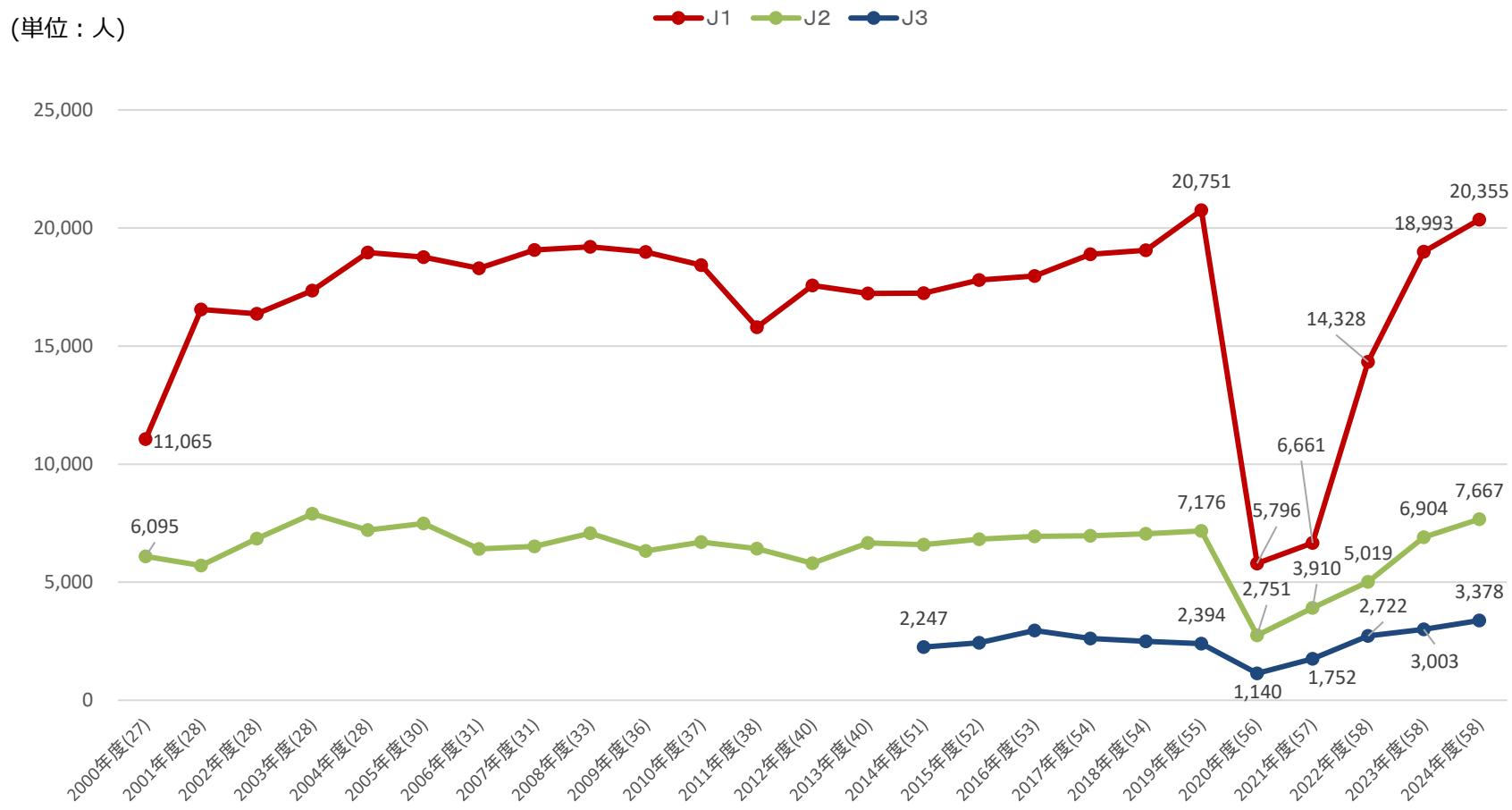


※2024年度総入場者数は、12,891,547人（明治安田J1・J2・J3リーグ、JリーグYBCルヴァンカップ、FUJIFILM SUPER CUP、J1昇格プレーオフ、J2昇格プレーオフ、J3・JFL入れ替え戦、明治安田Jリーグインターナショナルシリーズ、AFCチャンピオンズリーグ）

3-5. 1試合当たりの平均入場者数（リーグ戦のみ）の推移



(単位:人)



4-1. 「赤字」と「債務超過」の違い



1. 損益総括

	(百万円)	金額
売上高		791
スポンサー収入	418	
入場料収入	131	
Jリーグ配分金	96	
アカデミー関連収入	29	
女子チーム関連収入	20	
物販収入	45	
その他収入	52	
売上原価		757
トップチーム人件費	338	
試合関連経費	92	
トップチーム運営経費	143	
アカデミー関連経費	30	
女子チーム関連経費	10	
物販関連費	31	
その他売上原価	113	
販売費および一般管理費		150
営業利益（▲損失）		▲ 116
経常利益（▲損失）		▲ 115
税引前当期利益（▲損失）		▲ 115
法人税および住民税等		1
当期純利益（▲損失）		▲ 116

2. 貸借対照表

	(百万円)	金額
流動資産		119
固定資産		40
資産の部 合計		159
流動負債		211
固定負債		4
負債の部 合計		215
資本金		285
資本剰余金		85
利益剰余金		▲ 426
資本（純資産）の部 合計		▲ 56

債務超過を解消する = (純資産を0以上にする) 方法

- (1) 資本金を増やす
→ 増資の実行 (資本金を出す人を募る)
- (2) 利益剰余金を増やす (マイナスを消す)
→ 当期純利益を出す
 - 費用を削減して利益を出す
(チーム人件費、試合運営費、etc.)
 - 収入を増やすして利益を出す
(広告料、入場料、etc.)

したがって左のクラブの場合、債務超過解消には、

- ① 5,600万円以上の増資
- ② 5,600万円以上の当期純利益
- ③ 増資と利益の合計が5,600万円以上
のいずれかの手段を取らなければならない。

出資や増資等で得た資金はここにカウント

→これまでの黒字（赤字）の累積

→ここがマイナスなら「債務超過」